

子どもと 子育てで家庭を 応援します



子どもの育ちを地域で見守る

子どもは、家庭内の親や祖父母だけでなく、地域の大人たちに見守られながら体験や交流を重ねることで、より豊かに成長します。

中野区では、区の人口の約1割に当たる約3万人が転出と転入などで毎年入れ替わり、その中でも29歳以下の若年単身者の転入が多いという特徴があります。単身世帯が全世帯数の6割を占める中、3世代同居の割合は東京都平均に比べて少なく、世代を越えて地域で支え合うコミュニティが育ちにくい土壤といえます。

また、最近では、子どもが安全に安心して過ごせる場所が少ないのが現状で、地域の大人の目が多く求められています。

今号では、誰もが子育てしやすい環境づくりを応援する取り組みなどについて、見てみましょう。

誰もが子育てをしやすい環境づくりを応援します

「保護者の心に寄り添う支援をしてくださる」



▲講座の様子

去る12月12日、すこやか福祉センターの主催講座「子育てに必要なのは地域のちから」子育て支援のみなさんを応援します」が開催され、区内の各地域で子育て支援の活動をしている方など約60人が熱心に耳を傾けました。

講師は、新渡戸文化短期大学の汐見和恵教授。現在、「中野区次世代育成推進審議会会長も務める汐見教授に、子育てで家庭を取り巻く今の環境や求められる支援方法などを詳しく聞きました。また、汐見教授自身の子育て体験や失敗談などからは、周りのみなさんの支えが重要であるという具体的なお話も。

参加した方からは「自分が子育てをしていた時との社会状況の違いが分かり、もっと理解を深めなければならぬ」と感じました。「保護者への対応は自分の価値観で決め付けず、共感的に」というアドバイスなど、とても参考になりましたという声が聞かれました。

子育て中のみなさんへ

「困ったら『手伝って』と声を掛けてください」

講座当日、汐見教授から、子育て中のみなさんへのメッセージも伺いました。

「昔は地域で助け合って子育てをしていましたが、現在は地域状況も変わってしまい、気軽に『手伝って』『助けて』と言えない方も多いのではないかと思います。しかし、子育てはもともと迷惑を掛け合ってしまうお互い様のも。なかなか言い出しにくいかもしれませんが、

子育てに困った時は一人で悩まず、勇気を出して周りの方に『手伝って』と声を掛けてみてください。また、地域のすこやか福祉センターなどを利用して、いろいろな人と子育てについて話すのも良いのではないのでしょうか」

子育ての相談は



子ども総合相談窓口

(子ども家庭支援センター) / 3階
☎(3228)7867 FAX(3228)7875

18歳未満のお子さんとその家庭に関するあらゆる相談に応じます。悩みを抱えるみなさんと一緒に考え、問題の解決に向けてのお手伝いをします。

「どこに聞けば良いか分からない」「どうすれば良いか分からない」ことでも、気軽に相談してください。子育てサービスの案内や子育て情報の提供を行い、みなさんの子育てを応援します。

☆子育ての悩みなどに臨床心理士が応じる専門相談も日程を決めて実施しています。詳しくは、6ページをご覧ください

すこやか福祉センター

子育ての疑問や不安の相談に応じる他、赤ちゃんを初めて迎える夫婦向けの「サンデー両親学級」など子どもの成長に合わせた講座を開催しています。

詳しくは、区ホームページをご覧ください。問い合わせを。

名称	所在地	電話・ファクシミリ番号
南部	弥生町 2-41-2	☎(3380)5551 FAX(3380)5532
中部	中央 3-19-1	☎(3367)7788 FAX(3367)7789
北部	江古田 4-31-10	☎(3388)0240 FAX(3389)4339
鷺宮	鷺宮 3-18-15	☎(3336)7111 FAX(3336)7134

開館時間 ☆いずれも祝・休日、年末年始を除く
南部・鷺宮：平日午前8時半～午後5時
中部・北部：平日午前8時半～午後7時
土曜日午前8時半～午後5時